

令和 3 年 7 月からの一連の豪雨災害の概要

令和 4 年 2 月

令和 3 年 7 月からの一連の豪雨災害を踏まえた避難に関する検討会

1. 令和3年7月1日からの大雨について

- ①令和3年7月1日からの大雨(概要)
- ②令和3年7月1日からの大雨(気象概要)
- ③令和3年7月1日からの大雨(被害概要)
- ④降水量の時間変化と情報等の発表状況

2. 令和3年8月の大雨について

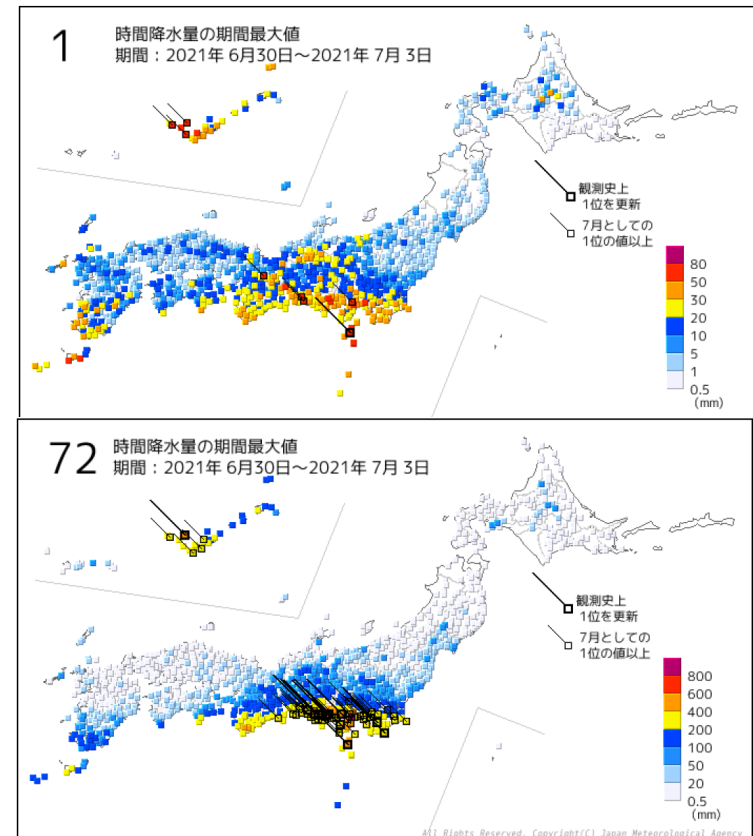
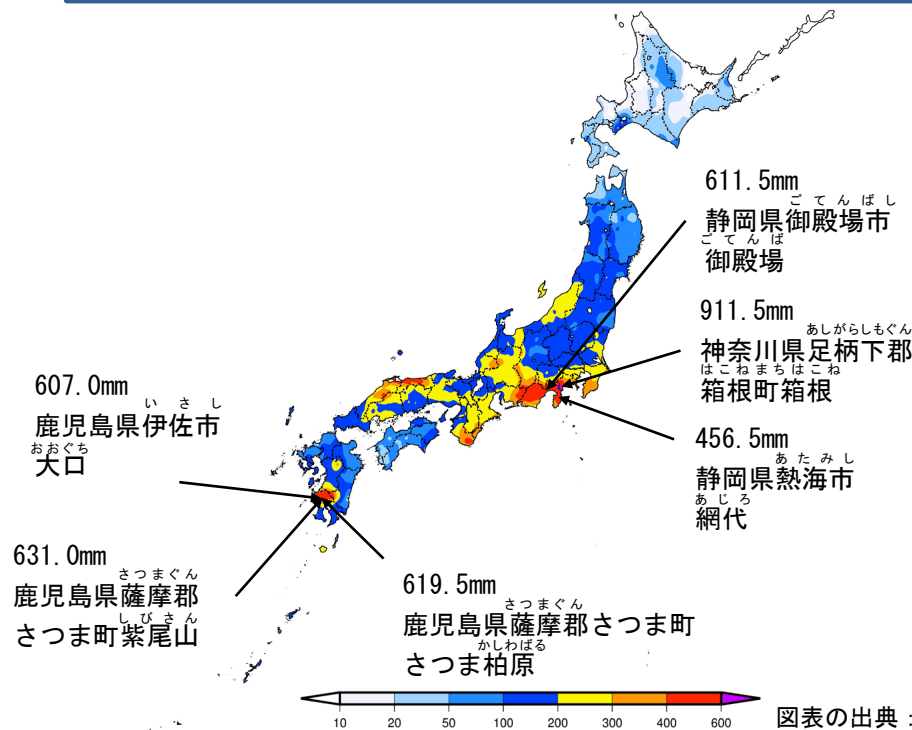
- ①令和3年8月の大雨(概要)
- ②令和3年8月の大雨(気象概要)
- ③令和3年8月の大雨(被害概要)
- ④降水量の時間変化と情報等の発表状況

①令和3年7月1日からの大雨（概要）

1. 令和3年7月1日からの大雨

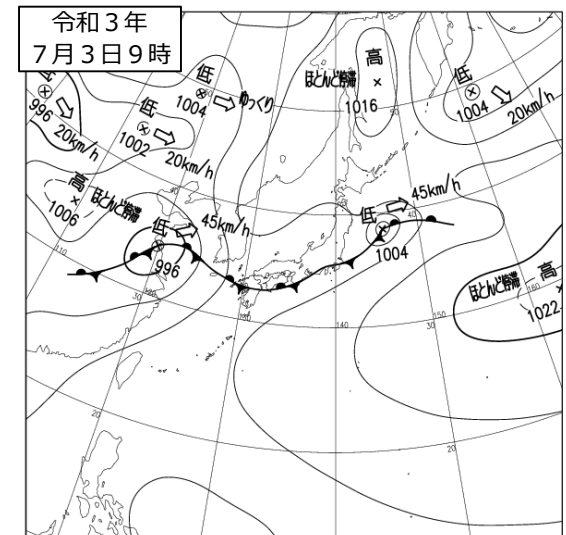
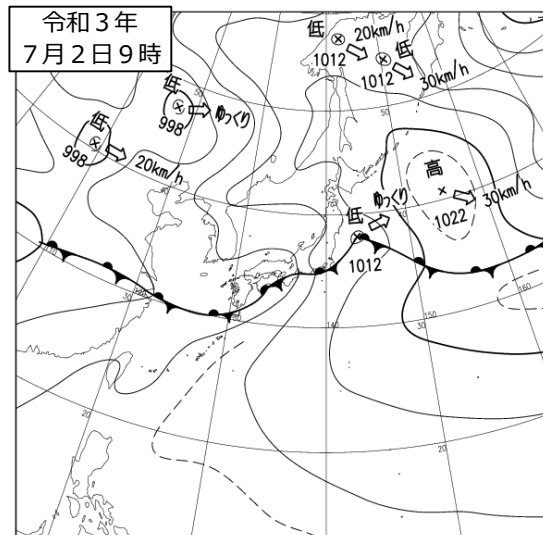
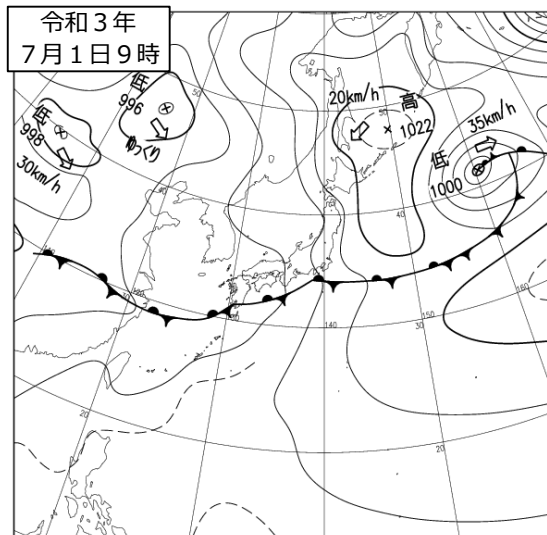
- 梅雨前線が、6月末から7月上旬にかけて西日本から東日本にかけて停滞した。梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が次々と流れ込み、大気の状態が不安定となったため、西日本から東北地方の広い範囲で大雨となった。
- 7月1日には伊豆諸島で線状降水帯が発生。2日から3日にかけては、東海地方から関東地方南部を中心に断続的に雨が降り、静岡県複数の地点で72時間降水量の観測史上1位の値を更新するなどの記録的な大雨。
- 4日以降、梅雨前線は次第に北上し西日本から東日本の日本海側でも降雨が見られた。特に7日は中国地方の日本海側で線状降水帯が発生し、日降水量が300ミリを超える大雨。
- 9日夜から10日にかけて九州南部を中心に猛烈な雨や非常に激しい雨が断続的に降り、鹿児島県さつま町や伊佐市で9日からの総雨量が500ミリを超える記録的な大雨。そのため、気象庁は10日5時30分に鹿児島県、5時55分に宮崎県、6時10分に熊本県に大雨特別警報を発表。
- 12日は全国的に広く大雨となり、青森県、三重県、島根県や鳥取県で1時間降水量が観測史上1位の値を更新するなどの記録的な大雨。

期間降水量分布図（6月30日～7月12日）

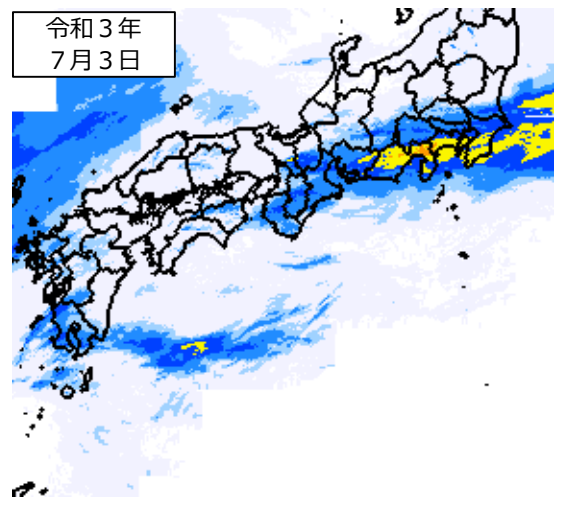
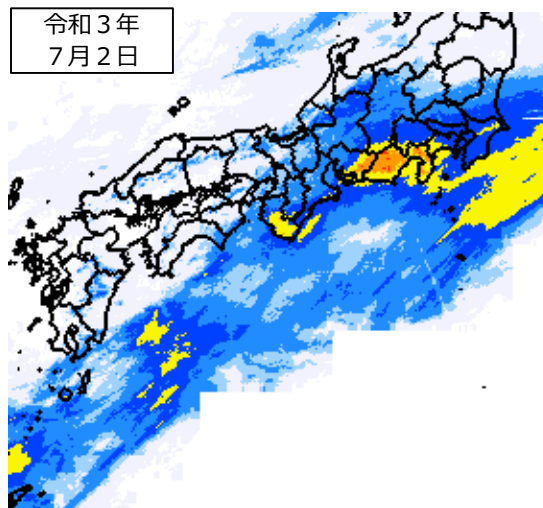
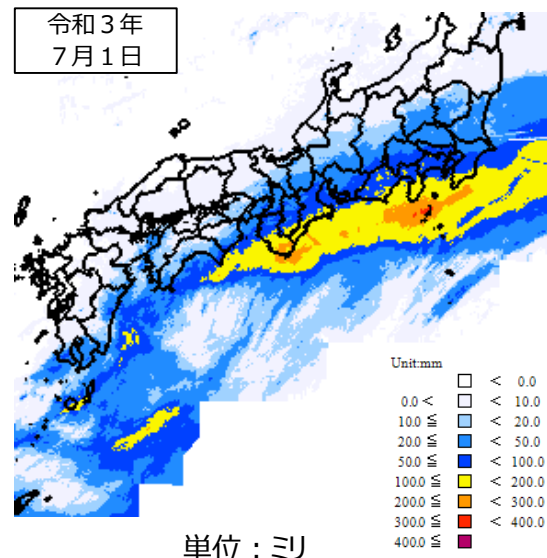


②令和3年7月1日からの大雨（気象概要）

■ 天気図



■ 日降水量（解析雨量）



③令和3年7月1日からの大雨（被害概要）

○これらの豪雨により、死者26名、行方不明者2名、住家の被害3,278棟の甚大な被害が広範囲で発生。

○土砂災害発生件数273件（土石流等29件、地すべり8件、がけ崩れ236件）。特に静岡県熱海市伊豆山の逢初川で発生した大規模な土石流により、人的被害、住家被害等の甚大な被害が発生。

○31水系64河川で氾濫や河岸侵食、内水による氾濫等による被害が発生。

○人的・住家被害（令和3年10月4日時点）

都道府県名	人的被害				住家被害				
	死者	行方不明者	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟
神奈川県		1		1	1		7	19	437
静岡県	26	1	1	2	54	11	37	114	329
鳥取県			1	3			1	14	144
島根県					3	25	140	79	576
広島県						52	8	102	741
鹿児島県							3	74	193
その他				2	1		11	11	91
合計	26	2	2	8	59	88	207	413	2,511



土石流による被害（静岡県熱海市）



黄瀬川大橋の被害（静岡県沼津市）

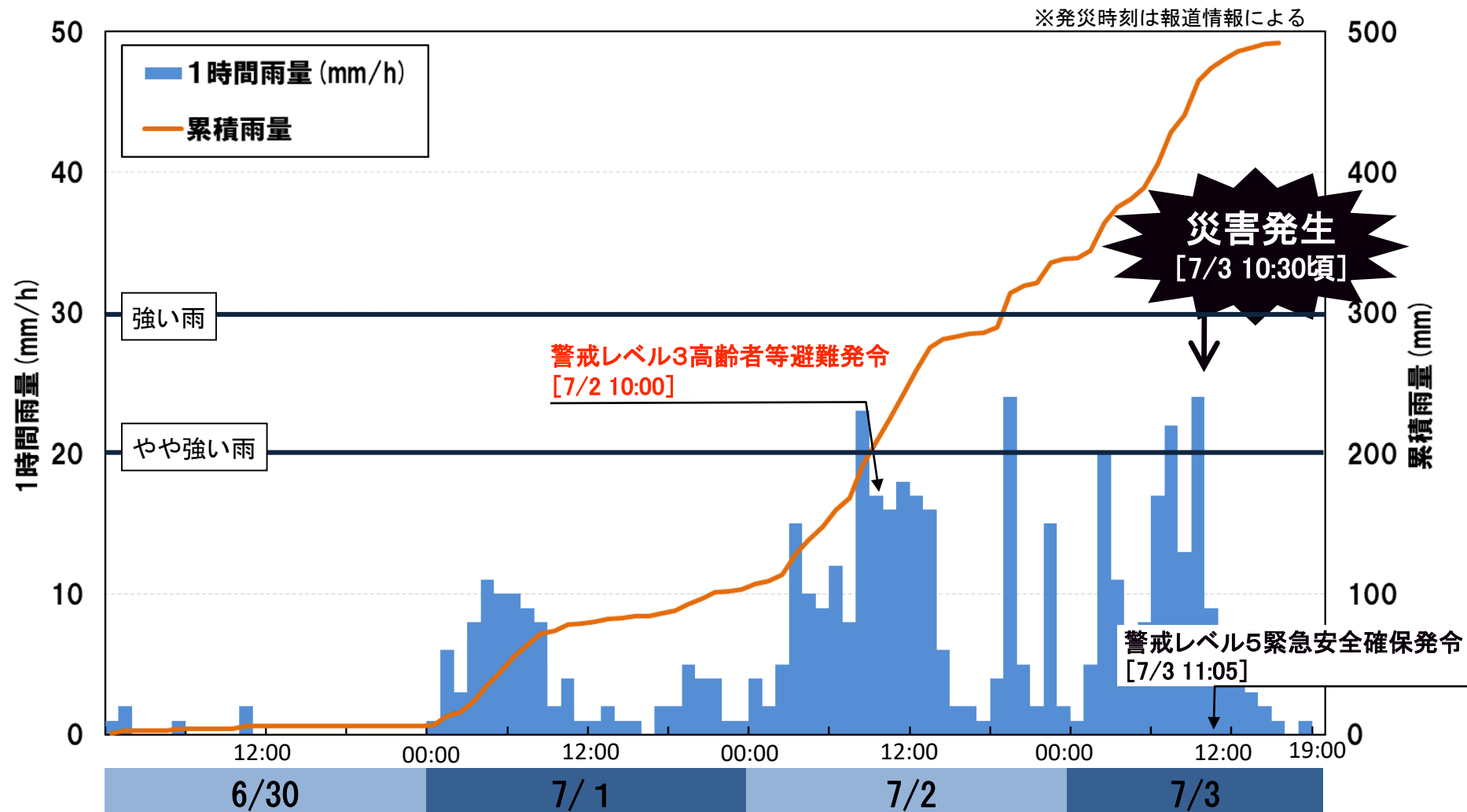


地すべりによる被害（長野県長野市）



本川水系本川からの氾濫（広島県竹原市）

④降水量の時間変化と情報等の発表状況



土砂災害警戒情報

大雨注意報

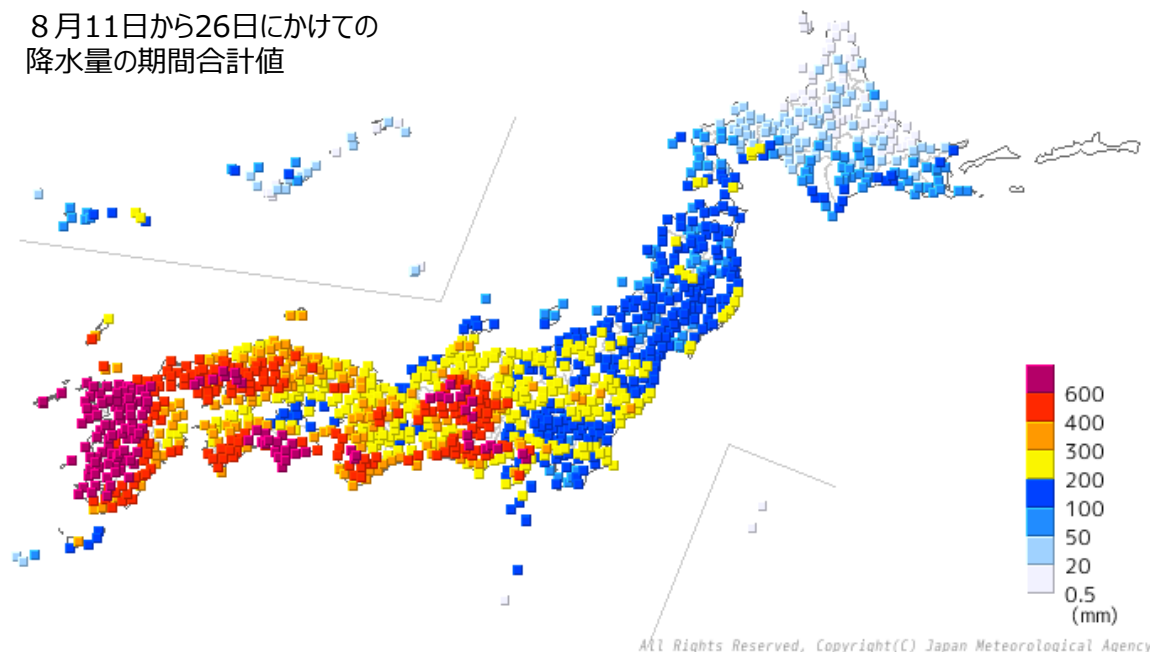
大雨警報

①令和3年8月の大雨（概要）

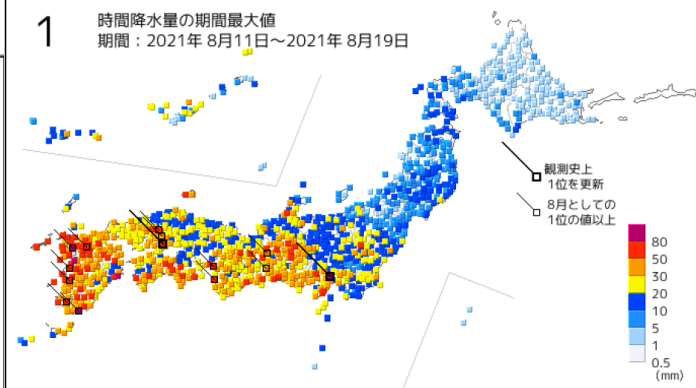
2. 令和3年8月の大雨

- 8月11日以降、日本付近に停滞している前線に向かって、暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となった影響により、西日本から東日本の広い範囲で大雨となった。
- 12日は、九州北部地方で線状降水帯が発生し、日降水量が多いところで400ミリを超える大雨。13日は中国地方で線状降水帯が発生し、複数の地点で日降水量が8月の値の1位を更新するなど、記録的な大雨。そのため、気象庁は広島県広島市を対象に大雨特別警報を発表。
- 14日は、西日本から東日本の広い範囲で大雨となった。特に九州北部地方で線状降水帯による猛烈な雨や激しい雨が降り続き、佐賀県嬉野市で24時間降水量555.5ミリを観測し、観測史上1位の値を更新するなどの記録的な大雨。そのため、気象庁は長崎県、佐賀県、福岡県、広島県を対象とした大雨特別警報を発表した。
- 16日から18日は、西日本から東日本の太平洋側を中心に広い範囲で雨となり、日降水量が九州南部や四国地方、近畿地方の多いところで200ミリを超える大雨。
- 19日から22日は、四国地方の太平洋側を中心に猛烈な雨や非常に激しい雨が断続的に降り続き、日降水量が多いところで200ミリを超える大雨。
- 22日以降も、台風第12号や台風から変わった低気圧の影響を受け、大雨となったところがあった。

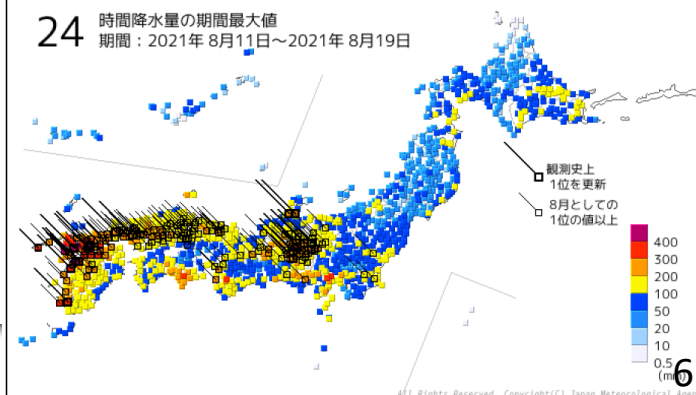
8月11日から26日にかけての
降水量の期間合計値



1 時間降水量の期間最大値
期間：2021年8月11日～2021年8月19日

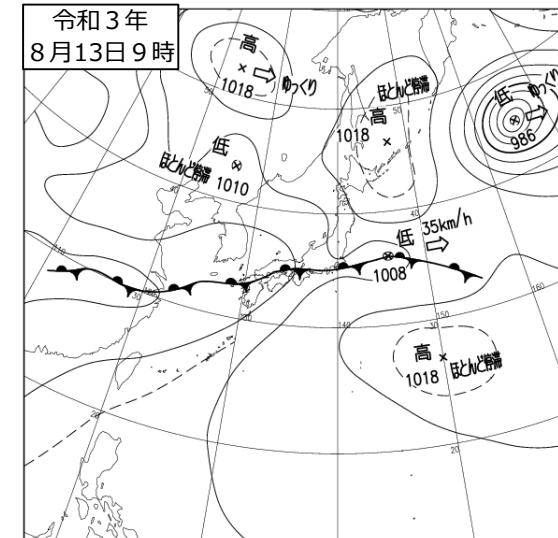
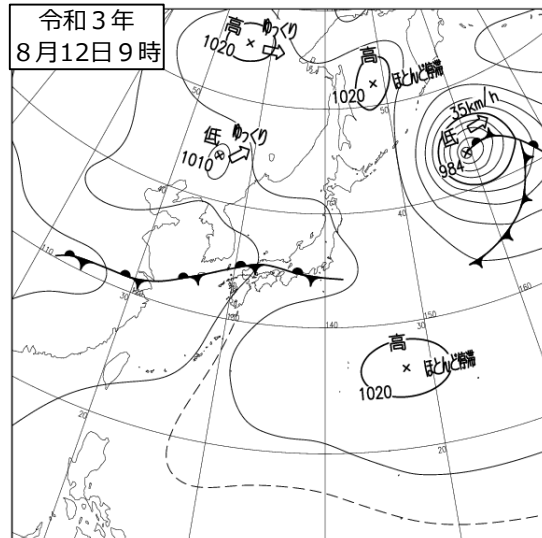
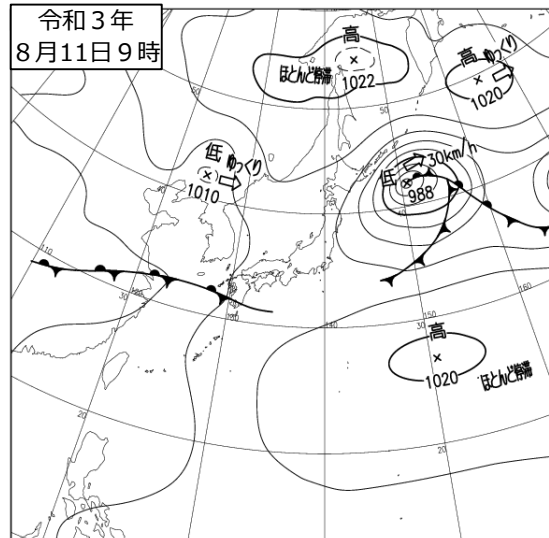


24 時間降水量の期間最大値
期間：2021年8月11日～2021年8月19日

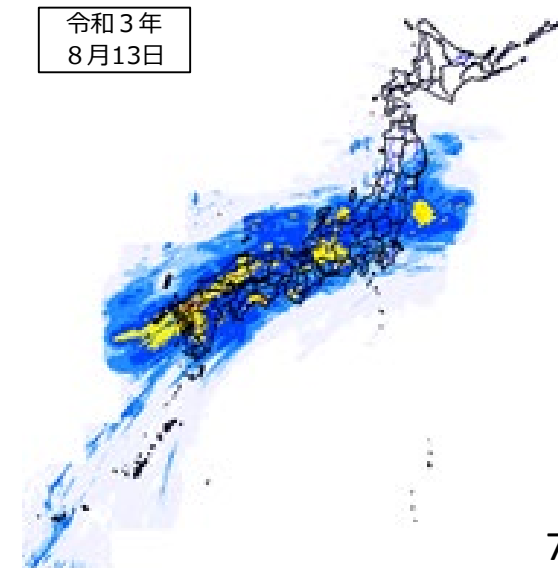
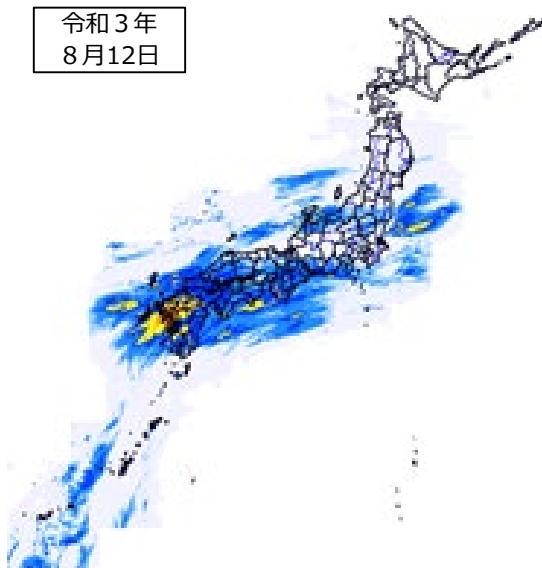
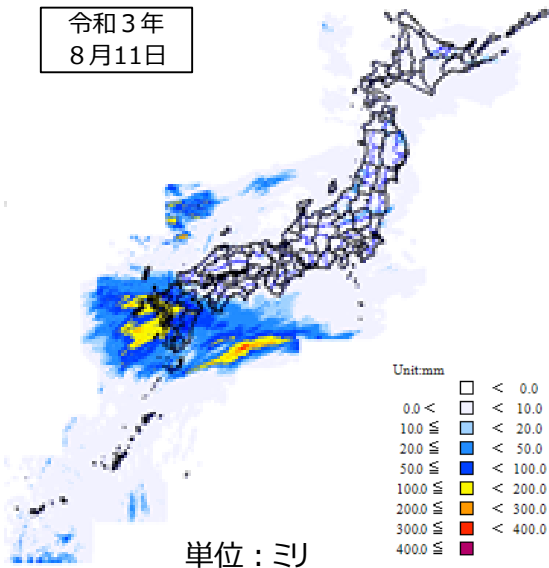


②令和3年8月の大雨（気象概要）

■ 天気図



■ 日降水量（解析雨量）



③令和3年8月の大雨（被害状況）

○これらの豪雨により、死者13名、住家の被害8,497棟の甚大な被害が広範囲で発生。

○土砂災害発生件数411件（土石流等93件、地すべり28件、がけ崩れ290件）。

○29水系89河川で氾濫や河岸侵食、内水による浸水等による被害が発生※1。

※1 六角川について、国管理河川、県管理河川のそれぞれにおいて計上

○人的・住家被害（令和3年10月1日時点）

都道府県名	人的被害				住家被害				
	死者	行方不明者	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟
長野県	3			4	7	4	71		474
岐阜県				1			40	24	54
滋賀県								6	50
京都府							2	8	35
広島県	3			1	9	67			
福岡県			1	2	5	55	41	561	2,695
佐賀県				4	3	2	7	1,700	1,857
長崎県	5		1		5		4		16
熊本県	1				1	2	5	5	66
その他	1			2	1	3	80	127	405
合計	13		2	14	31	133	250	2,431	5,652



六角川水系六角川からの氾濫（佐賀県武雄市）



土石流による被害（長野県岡谷市）

④降水量の時間変化と情報等の発表状況

※発災時刻は報道情報による

